

CSOかんざき平成30年度事業報告

事業目的

神埼で醸成された文化やそれに伴う活動を継承し、地域が取り組むべき課題に積極的に対応し、様々なCSOの円滑な連携を促し、活力ある地域づくり奇与する事を目的とする。

総括的事項

CSO活動拠点「神幸館」設置13年目を迎え、CSOの施設利使用（定例会や会議、サークル活動など）年間約4,016名の利使用があり、様々な相談業務対応など含めると年間約1万人以上出入りがありました。

まだまだ増加傾向にあり、様々なCSOや地域より様々な高いニーズを肌で感じています。CSO主体で行われる長崎街道かんざき宿場まつりやみゆき大祭など地域において代表されるイベント等の窓口業務をはじめ、神埼町子どもクラブ連絡協議会などの事務委託業務なども拠点業務として確立しており、中間支援組織としての機能が更に高まってきました。また、隣接する神崎市勤労者体育館の平日利用者窓口機能実施にて多くの利用者（社会スポーツ系CSO）の利便性も高まり、新たな拠点機能となっています。

命題である市民協働推進については、地域地縁CSO活動等を中心に伝承文化各種行事などがあらためて重要な地域コミュニティとしての見直しもたれており、それぞれの地域ニーズに合わせた協働活動認識への高まりが見られ、更なる推進充実が見られてきました。

「地域共有課題の解決と地域の多種多様な団体の人的ネットワークの形成」も推進中であり、今後も継続して実践サポートを行い、さらなる市民・CSO主体による協働のまちづくり推進・実践構築にて引き続き「未来へつながる地域づくり」を目指し活動しました。

櫛田宮・長崎街道の歴史的建築物と歴史文化を生かした活気ある中心市街地の再生活動として、まずは行動へと中心市街地再生へ向けた試験的要素も持つ、かんざき「櫛田の市」を継続して行いました。

とくに、「第7回神幸節分祭」では、より縁起深く盛り上げようと地域社会へ多くの除災招福と櫛田宮はもとより周辺の中心市街地の賑わい創造を願って地域総鎮守である櫛田宮の参道へ大型のお多福面設置を行いました。毎回、設置期間中の多数の来場者もちろんの事、神幸節分祭当日は約5,500人の来場者が詰めかけて神埼にとって新たな名所創造・地域コミュニティとなっています。賛同してご協力ご支援頂いた方々に心より御礼申し上げます。

さらに、継続して行っているまちづくりワークショップも中心市街地拠点づくりを中心に引き続き行っており、単なる商業者だけの市街地（商店街）再生活動では無く、中心市街地の再生が地域そのものの（ひいては神崎市）大きな社会課題としての取り組みが見られ、地元自治会や関係CSOによる重点協働活動として、利活用等による将来の再生へ向けた地域の士気高揚へ繋がった活動となっています。

お陰様で今年度は佐賀県より第3回佐賀さいこう表彰（協働部門）受賞も頂きました。

これらの事業実施について、佐賀県や神崎市はもとより、市民や各種CSOの方々の深いご理解と支援・協力にて成り立っており、心より御礼申し上げます。

事業内容

1 CSO 活動拠点としての業務推進・充実活動

- ・各種CSOの活動拠点として機能
- ・各種CSOの窓口業務委託受入推進ならびに自立支援他
- ・各種CSOの活動への会場利活用貸出全般
- ・神崎市郡医師会・神埼ライオンズクラブ事務局の賃借受入
- ・子供みこし振興会業務委託業務
- ・締元行列保存会事務委託業務
- ・神埼町子どもクラブ連絡協議会事務委託
- ・神崎市勤労者体育館の利用者窓口業務

2 市民協働推進

- ・拠点として関わる各種事業に常に「しかけ」を組み市民協働推進啓発活動
- ・佐賀県CSO提案型協働創出事業窓口として参画対応
- ・佐賀県採択の「市町業務の担い手あり方についての提案」である「中心市街地賑わい再生活動に関わる運営担い手づくり事業」として今年度も継続して活動。

3 中心市街地賑わい再生事業

神崎市中心市街地賑わい再生「まちづくりワークショップ」で協議した「長崎街道門前広場ならびに旧古賀銀行神埼支店利活用」の実践利活用等実施

【長崎街道門前広場】

- ・かんざき「櫛田の市」平成30年1月より毎月開催
- ・第24回長崎街道かんざき宿場まつり本部ステージ（平成30年7月28日）
- ・神埼ライオンズクラブ50周年記念式典実施
（勤労者体育館と同時活用平成30年4月28日）
- ・第1回かんざき神幸食フェスタ（平成30年4月29日）

【旧古賀銀行神埼支店】

- ・櫛田宮みゆき大祭時「みゆき大祭今昔パネル展」実施（平成30年4月1日）
- ・かんざき「櫛田の市」体験型ブース導入（平成31年1月～）
- ・西九州大学「地域再生・創生論」学外講義ワークショップ、まち歩き実施
（平成30年1月12日）
- ・第7回神幸節分祭 R I T A・結風ミニライブ実施（平成31年2月3日）
- ・神埼小学校6年生
「未来に伝えよう歴史あふれる神埼」まちなか自慢スケッチ大会作品展
（平成31年3月2日）

平成21年度より窓口事務局として取り組んでいる「櫛田宮・長崎街道の歴史的建築物と歴史文化を生かした活気ある中心市街地の再生活動」をテーマに各種活動と拠点利活用実施や維持管理運営を課題にまちづくりワークショップを開催

※かつての商業者中心の市街地（商店街）再生活動では無く、地域そのものの大きな課題として取組みが見られ、関係CSOによる協働活動として、将来の再生へ向けた地域の士気の高さがみられる。

・かんざき「櫛田の市」総合窓口事務局の取組み

毎月第1土曜日開催。多くのなじみ客が増加しており、人が行き交う催しとして定着して去年10月で7周年（第85回）となり、8年目である。

季節や地域既存行事等へ併せての開催を心掛けての運営をはじめ、毎月の来場者タマゴのつかみ取り、お客様感謝抽選会等実施して来場集客アップを企画実施。

とくに、今年度はサポーター団体「神埼マーケット」並びに商工会参画にて飲食、アクセサリー等コーナー増強や子どもコーナー読み聞かせ、昔遊び、各種体験コーナー設置等の出店数増加に伴い、若い世代の来場がかなり多くみられはじめた。

また、縁ある各種CSOにて櫛田宮参道に大型お多福面設置を行い、櫛田宮や櫛田宮総代会と共催して櫛田の市に併せて行う「第7回神幸節分祭」をはじめ、子ども相撲大会同日開催、神埼そうめん協同組合の協力を受けて「そうめん流し」の実施など様々なCSOからの協働体制を図る事ができた。

・中心市街地 賑わい再生PR発信事業

さが段階チャレンジ交付金事業を活用して作成した「幸せまち歩き」WEBサイトを活用して、長崎街道かんざき宿場まつりや櫛田の市（節分祭）などの発信を実施。今後も西九州大生や商工会青年部等若手と協働して第2弾3弾と継続し取り組みを行う。また、長崎街道門前広場や旧古賀銀行情報も内容決定次第発信準備中。

4 第9回 つなごう地域 つなげよう気持ち「地域 人づくり まちづくりサミット」

平成30年度佐賀県地域づくりネットワーク協議会「情報交換交流会」事業活用のべ53名程の参加にて市民協働のまちづくり活動推進ならびにネットワーク構築のサミットとなり、さらなる市民・CSO主体の市民協働推進への大きな足がかりとなった。

①「CSO活動事例発表会」市民活動をつなげよう！

- ・かんざき櫛田の市 ～盛り上がりと今後～ CSOかんざき
- ・「都市と里山の交流による地域活性化と課題解決」

地域資源研究会せふりの風 代表 本間昭久氏

②第2次神崎市総合計画「幸せつなごう かんざき」に向けて

～みんなで支えあい、誇りと笑顔あふれるまちを目指して～

神崎市企画課 篠木大輔氏

③「情報交換交流会」地域資源（人・志金・情報）循環型社会づくりワークショップ

～ファンドレイジングを考える～（公）佐賀未来創造基金 理事長 山田健一郎氏
助けられ上手ゲーム （公）さわやか福祉財団インストラクター 伊藤もと子氏

④どうせない 知り合おう交流会

CSOかんざき 第3回佐賀さいこう表彰（協働部門）受賞披露
～みんなでどどんつなごう！～

5 各種イベント等事務局受入等

第23回長崎街道かんだき宿場まつり事務局受入など（窓口業務他全般）各CSOで行われる長崎街道かんだき宿場まつりやみゆき大祭など拠点地域において代表されるイベント等の窓口業務をはじめ、子どもクラブ連絡協議会などの事務委託業務などを実施。

かんだき神幸食フェスタ実行委員会も窓口全般等事務委託受入対応。

※現在もいくつかのCSOより委託業務相談がっており、協議検討中です。

基本的にいわゆるすべて「丸受け」は控えており、市民協働スタイルを重視して、出来るだけ自主運営の方向へ助言・指導を心掛けて実施

6 定期的なCSOかんだき運営委員会の開催

基本的に月1回開催 今年度は13回開催

7 その他目的を達成するための事業

- 佐賀県「CSO提案型協働創出事業受付相談会」神幸館開催
- 佐賀県「抱く県さが」事業参加
- 西九州大学 あすなろう体験Ⅲ（応用実践）への学生との協働事業実施
西九州大学インターシップ学生（留学生他） 九年庵派遣
- （公）佐賀未来創造基金 評議会等への参画
- （公）佐賀未来創造基金 さがつくアワード2018参加
- 神崎市総合戦略会議参加
- 神崎市第2次神崎市総合計画審議会参加
- 神崎町地域懇談会参加
- その他各種事業関連マスコミ等取材対応